

日本航空石川高に恵那市が差し入れ 「五平餅、うまっ」

避難のラグビー部員頑張る



五平餅やからすみを味わう日本航空石川高校の選手ら＝恵那市武並町、中部大研修センター

恵那市は9日、能登半島地震で大きな被害を受けた石川県輪島市の日本航空石川高校ラグビー部を受け入れている中部大研修センター(恵那市武並町)で、昼食に郷土食の五平餅などを選手や監督らに振る舞った。選手たちは「五平餅、うまっ」と頑張った。

中部大春日丘高校(愛知県春日井市)と日本航空石川高校のラグビー部は長年交流があり、大学側が受け入れを決めた。大学と包括連携協定を結んでいる恵那市に支援要請があり、市とバローホールディングス(HD)が連携して4日から2週間支援している。恵那市は民間業者らを通じ、五平餅200本と米粉菓子

のからすみを差し入れた。バローHDは、水やお茶などのペットボトル飲料1800本を提供した。

日本航空石川高は、全国高校ラグビー大会に19大会連続で出場している強豪校。同センターに避難し、授業やラグビーの練習に取り組んでいる。11日には、長野県飯田市で開催される第26回北信越高校新人ラグビー大会で初戦を迎える。部員35人と教員4人は、それぞれ五平餅5本、からすみ2個、お茶を味わった。主将の2年上野魁心さん(17)は「五平餅は、もちもちしておいしかった。皆さんの支援に感謝」と新人大会での優勝を誓った。

(服部潤)